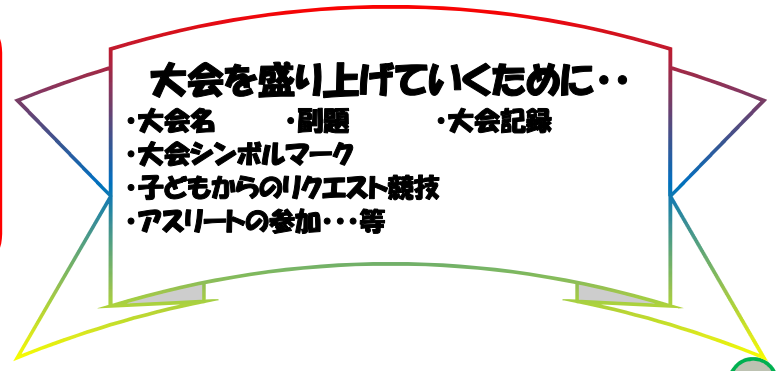


# 佐久市中学生スポーツ交流大会(仮)構想

**1 趣旨**  
 市内の中学生のスポーツ交流大会は、市内生徒が一堂に会し、交流生徒(小諸養護学校・エストニア交流生徒)の受入れや競技で競い合うことにより、仲間を応援する、また仲間から期待され、それに応えようとする姿勢や達成感を得ることによる自己肯定感や向上心を育むとともに、支え合う姿勢や感動・悔しさを共有するなど協調性の醸成や他校との交流を深める場とする。  
 また、全国的に子どもの体力、運動能力の低下や、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化の傾向があることから、体力の向上や新たにスポーツを始めるきっかけづくりの機会とする。  
 加えて、陸上の北信越レベルの大会やサッカー皇后杯などの公式戦が行われている市総合運動公園陸上競技場でスポーツをすることで、貴重な体験学習のひとつとする。

**2 実施の背景**  
 (1)市長公約  
 (2)スポーツ推進計画  
 (3)H29子ども議会野沢中学校生徒提案  
 (4)「スポーツ都市」宣言



## 3 現在までの検討経過

★対象者を中学1年生とした理由

1 新中学生として半年が過ぎたこの時期に機会を設け、学級づくりや友達との絆を深め、また、他校との交流づくりのきっかけとしたい。

2 中学生となり部活動がはじまることで、積極的にスポーツをする子とそうでない子の二極化が顕著となる時期にスポーツ活動に主体的に取り組める機会を設け、スポーツ習慣を身に付けるきっかけとしたい。

★競技種目について

1 以前実施していた市中陸上や現在の東信陸上大会のような競技性に留まらず、多くの生徒参加と交流も大切なねらいとする。

2 大会開催で終了では授業の「ねらい」に則さないで、大会を通じて大会前やその後の学びにつなげられる必要がある。

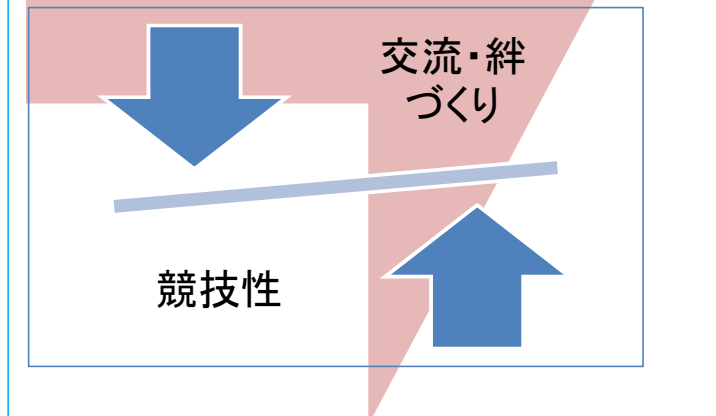
3 折角陸上競技場で実施するならば、マレットゴルフやホールウオーキングも競技に加えてはどうか。

★その他

1 生徒が運営に参画すれば、大会が盛り上がり主体的な取り組みになるのでは。

2 浅間中の「お弁当の日」を参考に、全員がお弁当持参でも良いのでは。

3 佐久市の特徴として、小学生では合同音楽会とミュージカル、中学生で本大会、次に会うのは成人式が一堂に会する機会とするのも良いのでは。



## 4 大会実施計画(案)

- (1)対象者:市内8中学校1年生全員
- (2)実施時期:平成30年10月25日(木)午前  
 位置付け:体力づくり強化月間、新人戦佐久大会終了後(一部残)  
 エストニア交流生徒の参加
- (3)競技内容  
 ア 学校対抗・教職員参加  
 イ 誰でも参加できるニュースポーツを取入れる  
 ウ 男女混合競技を取入れる(東京オリ・パラ競技で追加されている)
- (4)競技種目(例)  
 教職員参加や男女別・男女混合を取入れる  
 ア 陸上種目(競技性)  
 (ア)走:100m 800m 1500m リレー 駅伝  
 (イ)跳:走り幅跳び  
 (ウ)投:ジャベリング(やり投げ)  
 イ 団体種目(協調性)  
 (ア)ディスクゴルフ (ウ)綱引き  
 (イ)ラダーゲッター (エ)マレットゴルフ
- (5)その他  
 ア 雨天時:総合体育館でフラハールパレー・カーリング・ホッチャ等  
 イ 保険:学校活動のため応急手当として看護師手配のみ  
 ウ 引率:校長、教頭、学年担任(状況により副担・支援員)  
 エ 移動:各学校⇔競技場については市手配のバスで輸送  
 オ 保護者:観戦可

- 5 課題等**
- (1)教員に極力負担をかけない大会運営  
 ア 教育課程への位置付け(保健体育又は総合的な学習の時間:各学校判断)と大会前後で継続した学習となるような仕組みづくり(他の学習への影響を最小限に)  
 イ 学校に残る学年の授業対応(特別日課)  
 ウ 当日の大会運営
- (2)佐久長聖中学校・小諸養護学校等との調整  
 (3)地域の方々との交流・観戦の可能性  
 (4)生徒が主体的に取り組めるようなしなかけ(大会運営への参画等)  
 (5)イベント性を加え生徒が楽しく・参加したいと思う企画  
 (6)新人戦の時期と重なるため生徒への負担(疲労)への考慮  
 (7)学校間の生徒数格差を解消する工夫が必要

